

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka、April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

メッセージ “Israel、God’s Nation (イスラエルは神の国)、For a Reason and a Season (目的があって、しばらくの間)”



集会開始前にAmirさん、瀬戸姉と



集会の出席者



Amirさんのメッセージ、通訳は木下姉

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

“Israel、God’s Nation (イスラエルは神の国) For a Reason and a Season (目的があって、しばらくの間)”

1. A world without a flagship nation (リーダーシップをとる国のない世界)

- ・ノアの洪水とバベルの塔(創世記1~11章)までイスラエルは存在していない。イスラエルと神の契約はない。
- ・なぜイスラエルが神の国か？

アダムが墮落して以降、人々は罪を犯し続け、バベルの塔を建設し、名をあげようとした。

神は、イスラエルを選び(創世記12章以降)バベルの塔で散らされた人々とコミュニケーションをとるためのパイプとされた。

(申命記7:6)

・2つの誤った教義

- (1) イスラエルは教会に置換えられた(神はイスラエルに対して気持ちを変えられた→置換神学)

聖書はイスラエルに対する神の賜物と召命とは変わることがないと記している。(ローマ11:28-29)

- (2) イスラエルは選ばれた国であり、永遠に神に取り分けられている。他の国とは異なる。

キリストによって隔ての壁は打ち壊された。(エペソ2:14)、(エレミヤ31:35-36、黙示録021:23)

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

2 – 1. A world with a flagship nation (リーダーシップをとる国のある世界)

- ・創世記12章以降、神はイスラエルを選ばれた

「あなたは、あなたの神、主の聖なる民だからである。あなたの神、主は、地の面のすべての国々の民のうちから、あなたを選んでご自分の宝の民とされた。」 (申命記7:6)

- ・神はイスラエルを通して人類に語られた。

「主は、ご自身の道をモーセに、そのみわざをイスラエルの子らに知らされた。」 (詩篇103:7)、(詩篇147:19-207)

- ・神とイスラエルの契約は永遠に続く。

「わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。」 (創世記17:7)

①祝福 (Blessing)

「・・・あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」 (創世記12:1-3)

②子孫 (Seeds)

「・・・いや、あなたの妻サラが、あなたに男の子を産むのだ。あなたはその子をイサクと名づけなさい。わたしは彼とわたしの契約を立て、それを彼の後の子孫のために永遠の契約とする。」 (創世記17:19)

③土地 (Land)

「その日、主はアブラムと契約を結んで仰せられた。「わたしはあなたの子孫に、この地を与える。・・・」 (創世記15:18)

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

2 – 2. A world with a flagship nation (リーダーシップをとる国のある世界)

- ・ユダヤ人が偉大だから選ばれたのではない。

「・・・あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。事実、あなたがたは、すべての国々の民のうちで最も数が少なかった。」 (申命記7:7)

- ・しかし、ユダヤ人には備えられたアドバンテージがある。

「では、ユダヤ人のすぐれたところは、いったい何ですか。割礼にどんな益があるのですか。それは、あらゆる点から見て、大いにあります。第一に、彼らは神のいろいろなおことばをゆだねられています。」 (ローマ3:1-2)

- ・神が御子イエスをイスラエル人として生まれる特権を与えられた。

「彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。先祖たちも彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。このキリストは万物の上にあり、とこしえにほめたたえられる神です。アーメン。」

(ローマ9:4-5)

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

3 – 1. A world wherein Israel and the Church coexist (イスラエルと教会が共存する世界)

- ・イスラエルと教会が共存する 때가 来た。

(ローマ9:25-26、10:11-13、ガラテヤ3:26-29、エペソ2:11-18、第一ペテロ2:9-10、イザヤ49:5)

- ・イエスがこの地上に來られ、十字架上で流された贖いの血によって新しい契約に突入した。(ルカ22:20。第一コリント11:25)
- ・イスラエルを通して全世界が唯一の神を知り、全人類に救いの道を与えられる。(第二コリント15:22)
- ・イスラエルの始まりから今日に至るまで神がイスラエルを置換えることを意図されたことは一度もない

(ローマ11:28-29)

- ・イスラエルは主を拒絶したが、選びによれば父祖たちのゆえに、愛されている。神の約束は変わることはない。

(ローマ11:28-29)

- ・イスラエルを通して救い主をすべての国に提供された。(ローマ9:5)

- ・異邦人への厳しい警告

—イスラエルの違反によって救いは異邦人に及んだ。(ローマ11:11)

—異邦人は接ぎ木された枝。(ローマ11:11-24)

- ・生まれながらのクリスチャンはいない。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ3:3)

- ・キリスト教は宗教ではない。イエスは宗教的指導者(ニコデモ)にそのこと(新生の必要性)を明確に示された。

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

3 – 2. A world wherein Israel and the Church coexist (イスラエルと教会が共存する世界)

異邦人も救われる (聖句)

- ・シメオン：異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄 (ルカ2:25-32)
- ・バプテスマのヨハネ：「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」 (ヨハネ1:29)
- ・カナンの女：犬 (異邦人) も食卓から落ちるパンくずを食べる (マタイ15:27)
- ・サマリヤの女：礼拝するのは、この山でも、エルサレムでもないそういう時が来る (ヨハネ4:7-24)
- ・キリストにあっては、ユダヤ人もギリシャ人もない (ローマ9:25-26、10:11-13、ガラテヤ3:26-29、エペソ2:11-18、第一ペテロ2:9-10)

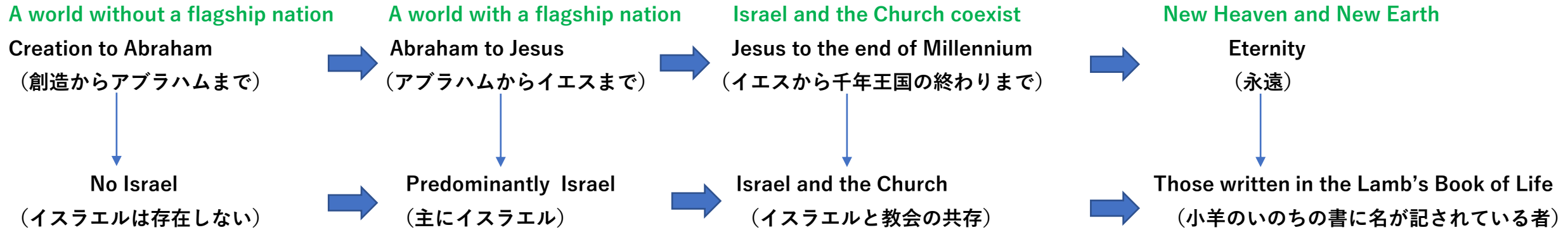
Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

4. New Heaven and New Earth that contains those whose names are written in the Lamb's Book of Life (小羊のいのちの書に名の書かれている者はみな新しい天と新しい地に入る)

- ・新しい天と新しい地に入ることのできる唯一の条件は「小羊のいのちの書に名が書かれている」ことである。
「私は、この都の中に神殿を見なかった。それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。都には、これを照らす太陽も月もない。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。諸国の民が、都の光によって歩み、地の王たちはその栄光を携えて都に来る。都の門は一日中決して閉じることはない。そこには夜がないからである。こうして、人々は諸国の民の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行なう者は、決して都には入れない。小羊のいのちの書に名が書いてある者だけが、はいることができる。」(黙示録21:22-27)
- ・時計はもはや不要である。Time is no more! (時間を決める太陽も月もない)
創世記1:4の第一日に「光」があった。太陽、月、星は第四日目に創造された。第一目の「光」はイエス・キリストである。「そよ風の吹くころ、彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞いた…」(創世記3:8)
「歩き回られる神」はヘブル語では「神のことば (Word of God)」であり、イエス・キリストを意味する。

Awaiting His Return (キリストの再臨を待ち望む) Amir Tsarfati in Osaka, April 15 (アミール・ツアルファティ、グランヴィア大阪 4月15日)

5. メッセージの要約チャート (by Amir Tsarfati)



6. Amirさんの招きの祈り

ユダヤ人も異邦人も関係なく、すべての人の救われる唯一の条件は、子羊のいのちの書に名が記されていることであるとの祈り（招き）がありました。これに応答して、出席者の中からイエス・キリストを救い主として受け入れる人たちが起こされました。